

## 株式会社ディーシーコーポレーション

### ◎ 事業所概要

企 業 名：株式会社ディーシーコーポレーション

代表者氏名：代表取締役 中田 大輔

所 在 地：金沢市

業 種：清掃業

労働者数：27人



### ◎ 行動計画

1 計画期間 平成27年8月1日～平成29年7月31日

#### 2 内容

目標1 育児・介護休業法に基づく育児休業等、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業等諸制度の周知。

目標2 小学校入学前までの子を持つ労働者の所定外労働の制限に関する制度を導入する。

目標3 所定外労働時間削減のため、ノー残業デーを設定する。

### ◎ 目標達成の状況

目標1 ・平成27年8月から法に基づく諸制度の調査を行った。同年10月からミーティングの際に当該制度につき従業員へ周知した。

目標2 ・平成27年8月から社員のニーズの把握と検討を開始した。同年10月から小学校入学前までの子をもつ労働者の所定外労働の制限に関する制度を導入し社員への周知を行った。

目標3 ・平成27年8月から所定外労働の原因と分析を行った。同年9月からノー残業デー設定についての検討会を行った。同年10月からノー残業デーを設定し、ミーティング等で周知した。ノー残業デーは1ヶ月に5日以上行うことにし、どの日をノー残業デーに設定するかは労使の話し合いで決定することにした。

## 企業からのひとこと

- 行動計画に基づく取組にあたって工夫した点
  - ・ 行動計画を周知することを特に意識しました。行動計画の達成は、社員全員が認識していないとできないと思ったからです。周知で工夫した点は、ミーティングだけでなくポスターを作成して見やすいところに掲示した点です。また、役員が進んで声かけすることにより、周知するだけでなく取得しやすい環境作りも心がけました。
  
- 行動計画に基づく取組の効果・課題
  - ・ 従業員に対して、育児関連制度は女性だけではなく男性も取得できることを説明し、取得の促進に努めました。育児関連制度を取得する際には、他の従業員が団結してサポートをしていたため、チーム力の向上がみられました。今後は、より一層こうした制度が取得しやすい環境づくりを心がけていきたいです。
  - ・ 所定外労働時間の削減のためのノー残業デーを月に5回程度設定しました。まずは、どのように残業を減らすのかを話し合い、作業工程の見直し等により作業効率が向上しました。今後は、作業効率の向上だけでなく、従業員の負担軽減についても検討していきたいです。
  
- 育児関連制度を取得した男性社員の声  
(清掃員・24歳)
  - ・ 男性でも育児のための制度を取得しやすいように声かけをしていただけたのは嬉しかったです。子どもの看護休暇の取得により、妻の負担も軽くなり、妻も喜んでいました。ノー残業デーも導入されたことにより、帰宅時間も早くなり育児に参加できるようになり子どもと過ごす時間が増えました。